

公園事業事後評価について

計画5:「風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡」

計画6:「国家的事業関連公園の整備」

計画7:「観光振興拠点公園の整備」

計画8:「安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)」

計画9:「福岡市公園施設の長寿命化の推進(防災・安全)」

目次

資料2-1 事後評価シート

資料2-2 事後評価説明資料

令和元年11月

福岡市 住宅都市局

花とみどりのまち推進部 みどり政策課

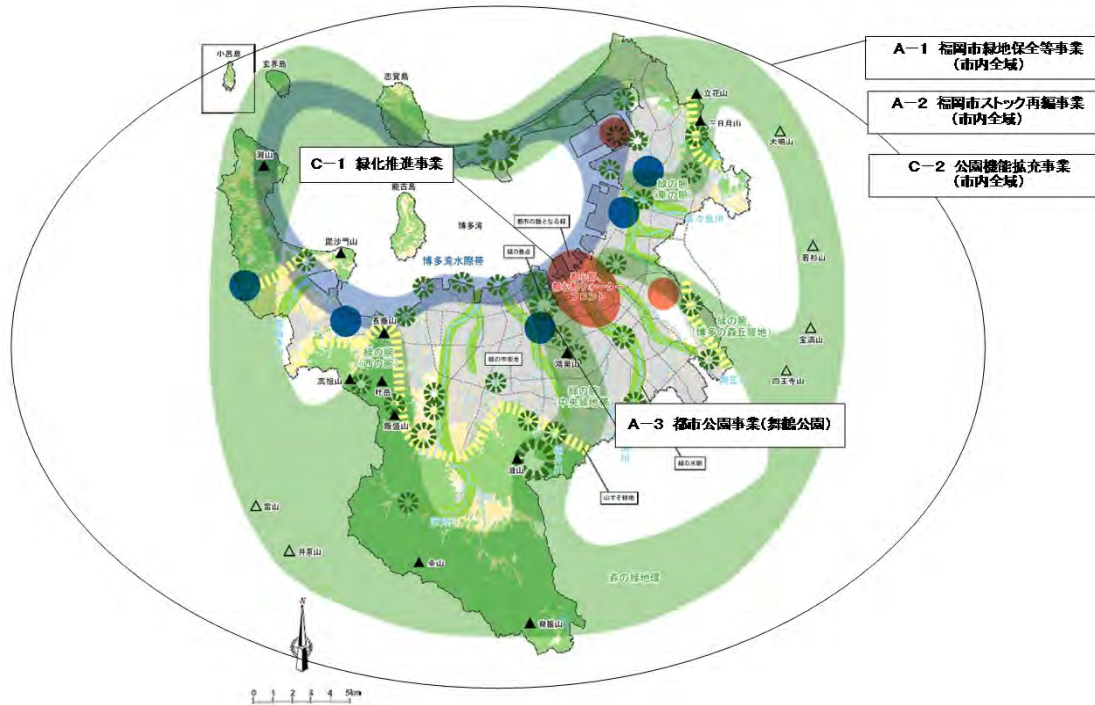
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡		
計画期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和元年度	全体事業費	6,900百万円	国費率	1/2 1/3

1)事業の実施状況	対象事業	要素事業名				
		A.基幹事業	○福岡市緑地保全等事業 ○福岡市ストック再編事業 ○都市公園事業(舞鶴公園) ○都市公園(東平尾公園)			
進捗状況	B.関連社会資本整備事業	-				
	C.効果促進事業	○緑化推進事業 ○公園機能拡充事業 ○公園内土砂災害対策事業				
	その他関連する事業	-				
	A.基幹事業	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	事業進捗(平成30年度末時点)	次期計画	
		○福岡市緑地保全等事業	特別緑地保全地区7地区用地取得, 6地区施設整備	一部完了	継続予定	
		○福岡市ストック再編事業	1公園用地取得, 18公園施設整備	一部完了	継続予定	
		○都市公園事業(舞鶴公園)	用地取得, 木橋整備	一部完了	継続予定	
		○都市公園事業(東平尾公園)	レベルファイブスタジアムボイラー施設, 陸上競技場夜間照明施設等	一部完了	継続予定	
B.関連社会資本整備事業						
	C.効果促進事業	○緑化推進事業	2路線施設整備	完了	-	
		○公園機能拡充事業	39公園施設整備	一部完了	-	
		○公園内土砂災害対策事業	1公園施設整備	一部完了	-	
その他関連する事業						
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値 (H27年度)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
		福岡市域における緑の面積	18,980ha	18,980ha	18,931ha	公園や民有地などの緑が増加しているものの、農地などのみどりは減少しているため、全市における緑の総量は減少しており、目標値に達していない。
		身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	31%	51%	30% (H30年度末実績)	市民の身近な公園が充足していない地域や市街地における緑化が十分でない地域もあり、目標値に達していない。
		地域の公園に親しみを感している市民の割合	64%	73%	67% (H30年度末実績)	公園の再整備に加え、公園愛護会活動やコミュニティパーク事業等のソフト施策を促進した結果、H27年度当初より数値は上昇したが、目標値を達成できなかった。
		過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合	56%	58%	62% (H30年度末実績)	セントラルパーク構想の推進や、舞鶴公園でのイベント開催件数の増加により、舞鶴公園への来訪者が増え、目標値を達成した。
		鴻臚館等観光施設の年間利用者数	12.5万人	17.0万人	20.5万人	セントラルパーク構想の推進や、舞鶴公園でのイベント開催件数の増加により、舞鶴公園への来訪者が増え、目標値を達成した。
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・都市公園事業について、比較的大規模な公園を整備することにより、市民の休息、鑑賞、散歩、運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。 ・都市緑地保全等事業について、都市の中に残る緑地を保全することにより、良好な景観と都市環境の創出。				
	効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)					
3)その他	今後の方針	・都市公園事業については、舞鶴公園、東平尾公園など必要な公園整備を進めていく。 ・緑地保全事業については、引き続き、永続的に良好な緑地を確保していく。				

「風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H31年度予定)
本市の「緑」に関する総合計画である「福岡市新・緑の基本計画」(平成21年5月策定)に基づき、社会資本総合整備計画を策定し、福岡市域における緑の面積の総量を維持するとともに、既存ストックの再編を図ることで、市民が身近な緑や公園に親しみをもてるような、風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡の創造に向けて事業を推進していく。また、舞鶴公園においては、日本で唯一の二重の国指定史跡である、国史跡福岡城跡、国史跡鴻臚館跡という、我が国固有の優れた歴史的資源を活用して、市民の憩いの場として、歴史、芸術文化、観光振興の拠点となる公園づくりに向けて、セントラルパーク構想を推進している。	①福岡市域における緑の面積	18,980ha	18,980ha	18,931ha
	②身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	31%	51%	30% (H30年度末実績)
	③地域の公園に親しみを感じている市民の割合	64%	73%	67% (H30年度末実績)
	④過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合	56%	58%	62% (H30年度末実績)
	⑤鴻臚館等観光施設の年間利用者数	12.5万人	17.0万人	20.5万人



主な事業効果

- ・都市公園事業については、比較的大規模な公園を整備することによる新たな緑の創出、および、運動やレクリエーションを行うことができる公共空間の創出
- ・緑地保全事業については、特別緑地保全地区に指定された地区の用地取得を行うことによる、永続的に良好な緑地の確保
- ・福岡市ストック再生事業については、市民ニーズに合わせた身近な公園の整備

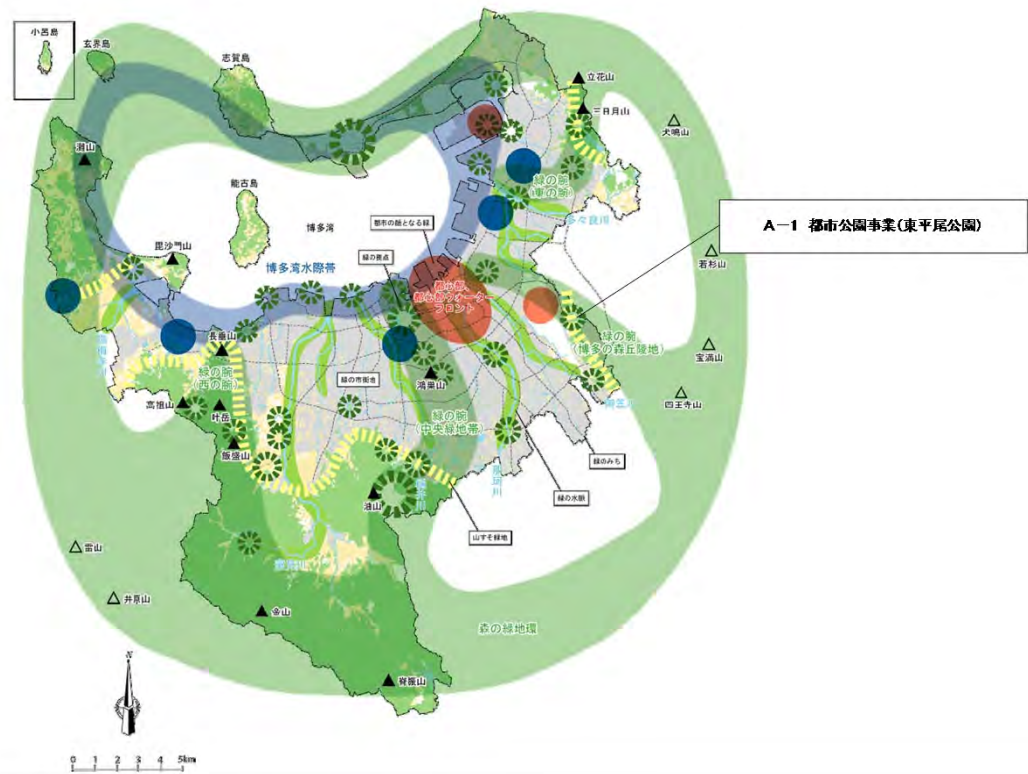
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	国家的事業関連公園の整備		
計画期間	平成28年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和元年度	全体事業費	1,784百万円	国費率	1/2

		要素事業名						
1)事業の実施状況	対象事業	A.基幹事業	○都市公園事業(東平尾公園)					
		B.関連社会資本整備事業	-					
		C.効果促進事業	-					
		その他関連する事業	-					
	進捗状況	A.基幹事業	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	事業進捗(H26年度末時点)	次期計画		
			○都市公園事業(東平尾公園)	球技場施設改修, 陸上競技場施設改修	完了	-		
	B.関連社会資本整備事業							
	C.効果促進事業							
	その他関連する事業							
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値 (H28年度)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因		
		スポーツ観戦の機会への評価	79%	81%	77% (H30年度末実績)	H24年度から指標値は上昇傾向にあったが、H28年度以降は高い値を維持している。要因としてプロスポーツの存在や、福岡で継続的に開催されている国際大会が影響していると考えられるが、H31年度以降はラグビーワールドカップなどが開催予定であるため、今回達成できていない目標値の達成が期待できる。		
		国際スポーツ大会、全国レベルの大会等の年間開催数	1回	3回	3回	国際スポーツ大会が開催可能な公園の整備を行い、ラグビーワールドカップ、日本陸上競技選手権大会、福岡国際女子テニスが開催予定であるため、目標値を達成することが出来た。		
		成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・都市公園事業について、大規模な運動公園を整備することで運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。					
	効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)							
3)その他	今後の方針	・今後も、国際スポーツ大会や全国レベルの大会が開催可能な公園施設の整備と指定管理者制度などの民間活力を生かしてより一層の利用者サービスの向上を目指していく						

「国家的事業関連公園の整備」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H31年度予定)
令和元年度に日本で開催予定の「ラグビーワールドカップ2019」や令和2年度に開催予定のオリンピック・パラリンピック等の開催に向けて、国際大会開催が可能な施設に改修を行うことで、大会後も多くの外国人が訪れる国際的な大会を誘致し、魅力ある総合公園として外国人観光客の呼び込みを図る。	①スポーツ観戦の機会への評価	79%	81%	77% (H30年度未実績)
	②国際スポーツ大会、全国レベルの大会等の年間開催数	1回	3回	3回



主な事業効果

都市公園事業については、ラグビーワールド杯などの国際大会誘致可能な総合公園の施設整備。

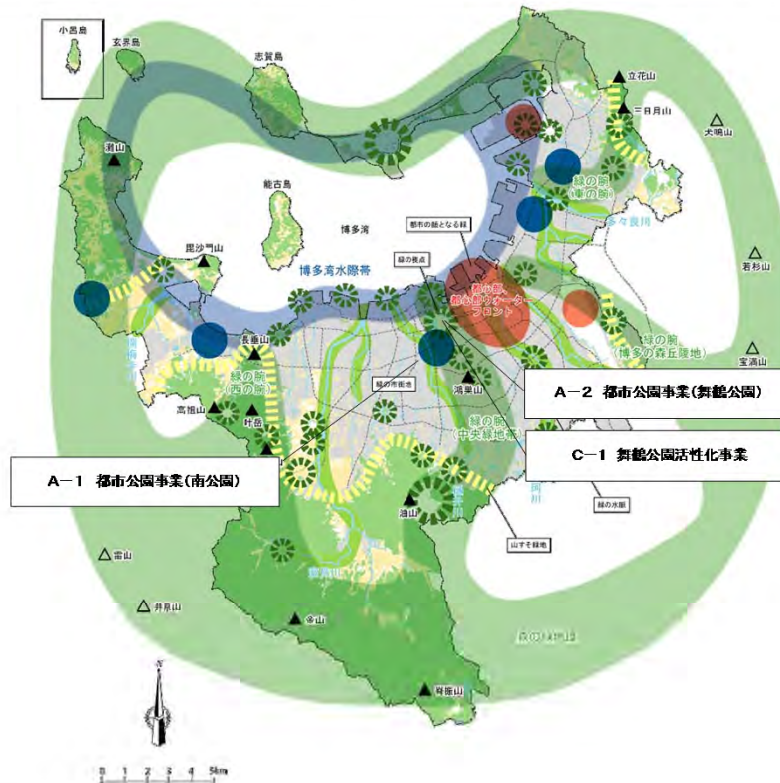
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	観光振興拠点公園の整備		
計画期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和元年度	全体事業費	4,570百万円	国費率	1/2

1)事業の実施状況	対象事業	要素事業名					
		A.基幹事業	○都市公園事業(南公園) ○都市公園事業(舞鶴公園)				
	B.関連社会資本整備事業	-					
	C.効果促進事業	○舞鶴公園活性化事業					
	その他関連する事業	-					
進捗状況	A.基幹事業	要素事業名		事業内容(延長・面積等)	事業進捗(令和元年度末時点)	次期計画	
		○都市公園事業(南公園)		エントランス複合関連施設整備	完了	-	
		○都市公園事業(舞鶴公園)		用地取得(0.02ha)	一部完了	-	
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値 (H27年度)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因	
		動植物園の年間利用者数	92.8万人	95.6万人	83.2万人	H25年度にアジア熱帯の渓谷エリアが供用開始され、H27年度は利用者が92.8万人に達し、この値を基準として目標値を設定していたが、その後は減少傾向にあり、H29年度の利用者数は80.4万人であった。エントランス複合施設の供用が開始したH30年度においては、利用者数が82.6万人と増加しているため、今後も増加していくことが期待される。	
効果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・動植物園再生事業を進めることで、来園者のレクリエーションの場の提供。 ・セントラルパーク事業により、市民のみならず観光に資する空間の提供。						
	効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)						
3)その他	今後の方針	・動植物園再生計画に基づき、新しい時代にふさわしい市民に親しまれる魅力的な動植物園へと再生を図る。 ・セントラルパーク構想に基づき継続して、大濠公園と舞鶴公園の一体的な活用を図り、県民・市民の憩いの場、歴史、芸術文化、観光の発信拠点としての公園づくりを目指していく。					

「観光振興拠点公園の整備」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H31年度予定)
福岡市の財産である歴史的、自然的、文化的資源を活かした観光振興の拠点となる公園を整備し、市民や外国人観光客を含む多彩な来街者が集う魅力ある街を目指す。	①動植物園の年間利用者数	92.8万人	95.6万人	83.2万人



主な事業効果

- 南公園においては、市民に親しまれる動植物園へと再生するために、エントランス複合施設の整備を行った。
- 舞鶴公園においては、大濠公園と舞鶴公園を一体的な利用を行うための用地取得を行った。

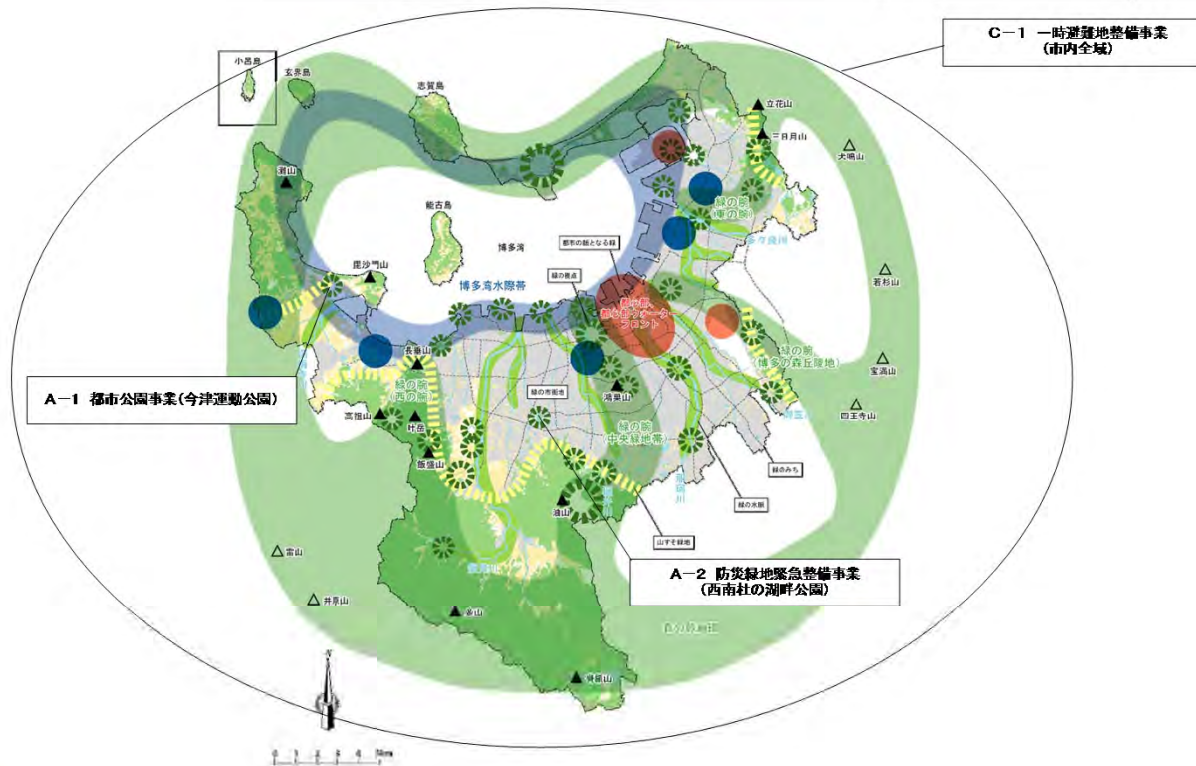
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)		
計画期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和元年度	全体事業費	2,925百万円	国費率	1/2 1/3

1)事業の実施状況	対象事業	要素事業名				
		A.基幹事業	○都市公園事業(今津運動公園) ○防災緑地緊急整備事業(西南杜の湖畔公園)			
進捗状況	B.関連社会資本整備事業	-				
	C.効果促進事業	○一時避難地整備事業				
	その他関連する事業	-				
	A.基幹事業	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	事業進捗(令和元年度末時点)	次期計画	
		○都市公園事業(今津運動公園)	今津運動公園整備公式野球場整備等	完了	-	
		○防災緑地緊急整備事業(西南杜の湖畔公園)	都市開発資金償還	一部完了	実施予定	
	B.関連社会資本整備事業					
C.効果促進事業	○一時避難地整備事業	2公園新規整備	完了	-		
その他関連する事業						
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値 (H27年度)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
		地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合	39%	46%	40% (H30年度末実績)	広域避難場所となる公園の整備や用地取得を行い、地区避難場所となる公園を2箇所整備したが、目標値を達成できなかった。
		地域に緊急時の避難場所が整備されていると感じている市民の割合	45%	66%	46%	広域避難場所となる公園の整備公園の整備を1箇所、用地取得を1箇所行い、地区避難場所となる公園を2箇所整備したが、直近の指標調査を行っておらず実績値は不明である。なお、本指標と類似した①の指標が、当初現況値を維持していることから、本指標についても同程度であると推測される。
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・都市公園事業について、大規模な運動公園を整備することで運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。 ・防災緑地緊急整備事業について、広域避難場所となる公園緑地空間の創出。				
	効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・一時避難地整備事業について、福岡市の地域防災計画における地区避難所となる近隣公園の新規整備。				
3)その他	今後の方針	・都市公園事業については、引き続き大規模な公園を整備することにより、市民の休息、運動、レクリエーションの場として総合的な利用に資する公共空間の創出を目指していく。 ・防災緑地緊急整備事業については、引き続き、市街地などの避難場所が不足している地域において、防災・減災に資する公共空間を創出していく。				

「安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H31年度予定)
緑による都市の防災、減災対策を推進するため、災害時等に避難場所となる公園・緑地の整備を進める。	①地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合	39%	46%	40% (H30年度末実績)
	②地域に緊急時の避難場所が整備されていると感じている市民の割合	45%	66%	46%



主な事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園事業については、今津運動公園の大規模な公園を整備することにより、市民の休息、運動、レクリエーションの場として総合的な利用に資する公共空間を創出することができた。 ・防災緑地緊急整備事業については、地域防災計画における広域避難場所となる西南社の湖畔公園の用地取得を行うことができ、災害時の避難場所となる公園・緑地を創出することができた。
--------	---

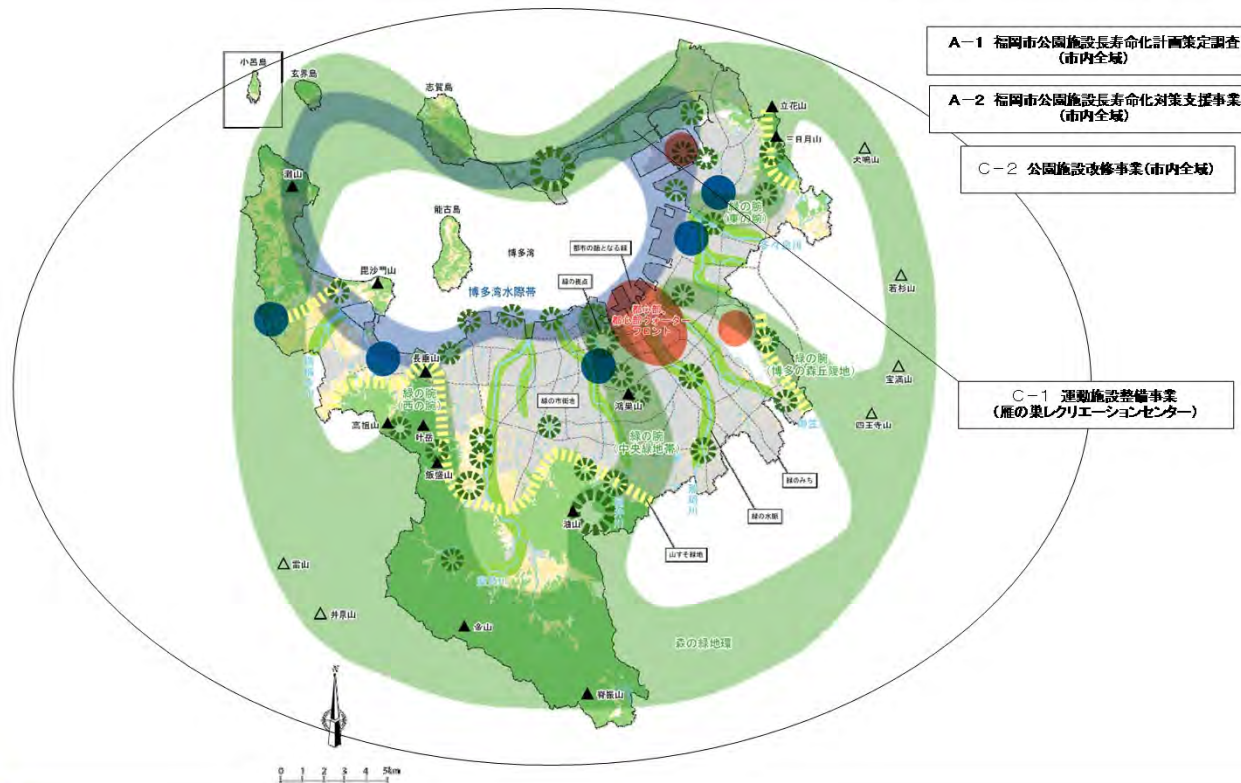
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	福岡市公園施設の長寿命化の推進(防災・安全)		
計画期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和元年度	全体事業費	2,351百万円	国費率	1/2

		要素事業名					
1)事業の実施状況	対象事業	A.基幹事業	○福岡市公園施設長寿命化計画策定調査 ○福岡市公園施設長寿命化対策支援事業				
		B.関連社会資本整備事業	-				
		C.効果促進事業	○運動施設整備事業 ○公園施設改修事業				
		その他関連する事業	-				
	進捗状況			要素事業名	事業内容(延長・面積等)	事業進捗(H26年度末時点)	次期計画
		A.基幹事業	○福岡市公園施設長寿命化計画策定調査		長寿命化計画の策定	完了	-
			○福岡市公園施設長寿命化対策支援事業		遊具施設等の改修(159公園)	一部完了	実施予定
		B.関連社会資本整備事業					
C.効果促進事業		○運動施設整備事業	雁の巣レクリエーションセンターの施設改修(便所、ポイラー施設)	完了	-		
		○公園施設改修事業	遊戯施設以外の公園施設改修(132公園)	一部完了	-		
その他関連する事業							
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象		指標名	当初現況値 (H27年度)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
			地域の公園で子供が安心して遊べると感じている市民の割合	63%	75%	67% (H30年度末実績)	公園施設長寿命化計画に基づき、4年間で159箇所の公園について、遊戯施設の改修を行った結果、平成27年度当初に比べ実績値は上昇したが、目標値を達成できなかった。
成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)		・福岡市公園施設長寿命化対策支援事業について、遊具の改修を通して、安心して利用できる公共空間の創出					
効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)		・運動施設整備事業については、雁の巣レクリエーションセンターにおいて、利用者が安全に運動等ができるような施設の整備 ・公園施設改修事業について、公園施設の改修を通して、安心して利用できる公共空間の創出					
3)その他	今後の方針	・公園施設長寿命化計画対策支援事業については、引き続き、公園長寿命化計画に基づき公園施設の計画的な改修・更新を行うことにより身近な公園の安全性の向上を図る。					

「福岡市公園施設の長寿命化の推進(防災・安全)」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H31年度予定)
誰もが安全・安心に公園を利用できる環境整備を行うため、公園施設長寿命化計画を踏まえた既存施設の計画的な維持管理・更新を図る。	①地域の公園で子供が安心して遊べると感じている市民の割合	63%	75%	67% (H30年度未実績)



主な事業効果	公園施設長寿命化計画対策支援事業については、公園施設長寿命化計画に基づいた施設の更新を行い、地域の公園で安心して遊べる公園整備を行った。
--------	--

社会資本整備事業事後評価について

計画5:「風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡」

計画6:「国家的事業関連公園の整備」

計画7:「観光振興拠点公園の整備」

計画8:「安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)」

計画9:「福岡市公園施設の長寿命化の推進(防災・安全)」

令和元年11月

福岡市 住宅都市局

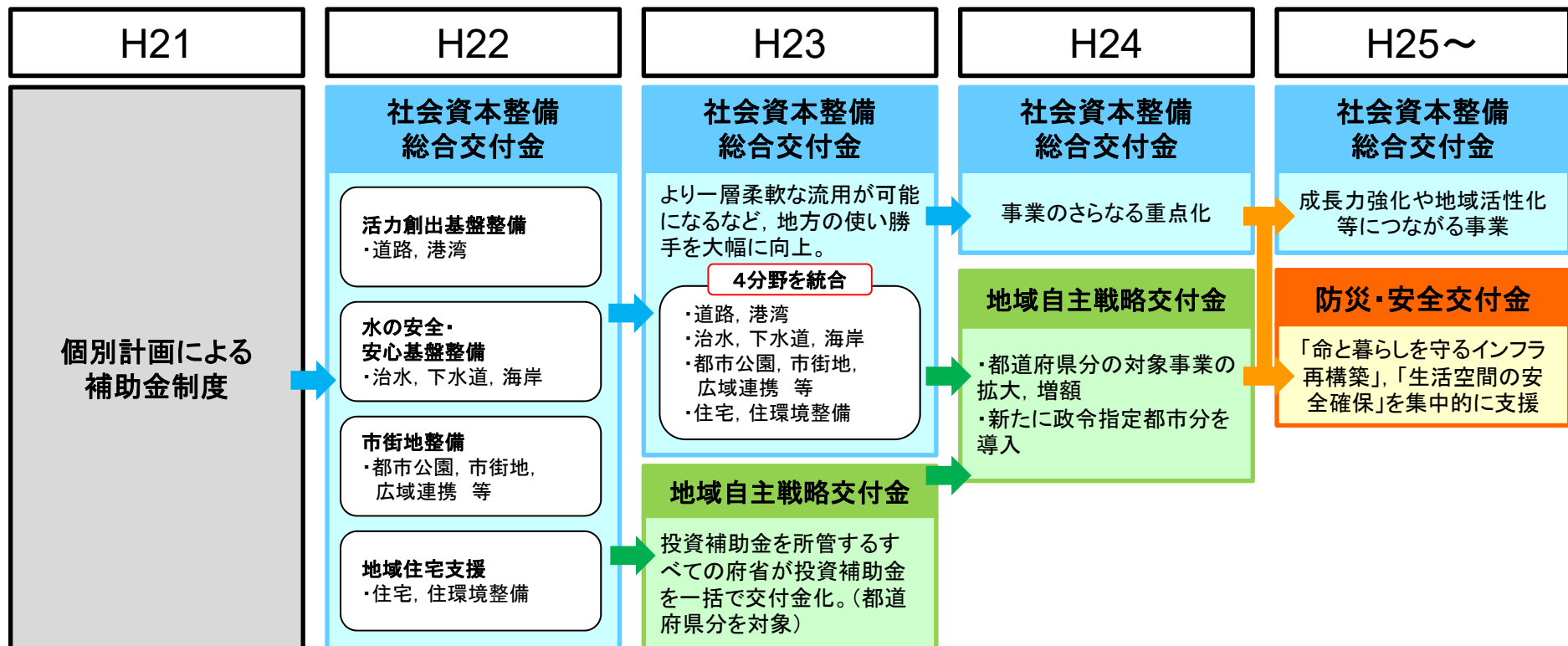
花とみどりのまち推進部 みどり政策課

社会資本総合整備計画について

交付金事業の変遷

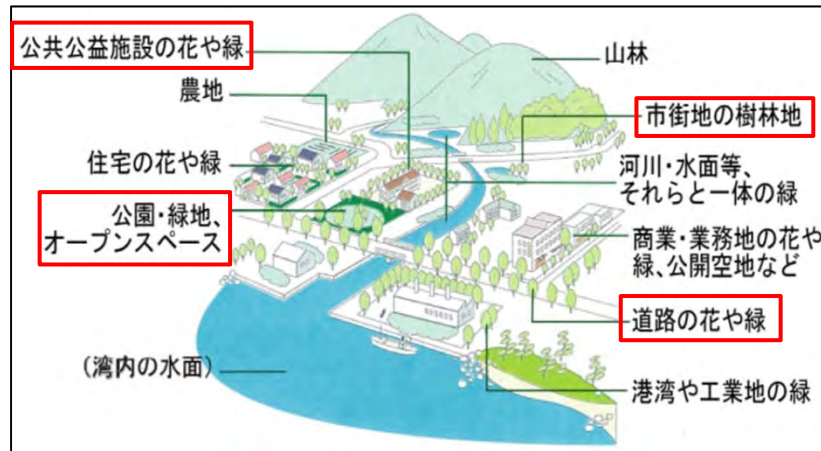
交付金制度の変遷

- 平成22年度に国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に一括。地方公共団体にとってはより自由度の高い制度となった。
- 平成25年度以降は「防災・安全交付金」によりインフラ再構築(老朽化対策等)及び生活空間の安全確保の取組を集中的に支援するとともに、社会資本整備総合交付金により地域の社会資本整備を総合的に支援することとなった。



福岡市のみどりについて

【福岡市 新・緑の基本計画における「緑」の定義】



【緑の将来像図】



【参考】

H31.4.1 現在

緑被面積	18,920 ha
公園数	1,685 箇所
公園面積	約1,375 ha
一人当たり公園面積	8.69 m ²

社会資本総合整備に関する5つの整備計画の概要

<現状・問題点等>

<現状・問題点への対策方針>

<社会資本総合整備計画(目標・概要)>

●市街地における緑面積の減少

●特別緑地保全地区等の拡大

●身近な緑への評価の低下

●老朽化し、ニーズに合わない公園の再整備等

●都心部における魅力的な公園の不足

●舞鶴公園の利活用の促進

●国際大会が開催可能な施設の不足

●国際大会が開催可能な施設の整備

●観光の拠点となる公園の不足

●既存資源を活かした観光拠点公園の整備

●避難場所としての公園の不足

●避難場所となる公園・緑地の用地確保

●公園施設の老朽化による危険性の高まり

●既存公園施設の計画的な維持管理・更新

計画5: 風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡

計画6: 国家的事業関連公園の整備

計画7: 観光振興拠点公園の整備

計画8: 安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)

計画9: 福岡市公園施設の長寿命化の推進(防災・安全)

各計画の事業内容と成果について

計画5

風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡

地域の現状・課題

●市街地における緑面積の減少

福岡市では、緑の面積を維持するため、特別緑地保全地区などの指定を進めているが、開発圧力にさらされ減少している。

●身近な緑への評価の低下

地域の公園の老朽化などにより、市民の公園や緑に対する評価が近年横ばいとなっている。

●都心部における魅力的な公園の不足

福岡では、アジアとの結びつきを強めていくとともに、国内でも独創性のある活性化施策を展開している。都心観光のシンボルエリアとして、舞鶴公園を位置づけているが、福岡の観光の目的地としての求心力が発揮されていない。

計画の目標

本市の「緑」に関する総合計画である「福岡市新・緑の基本計画」（平成21年5月策定）に基づき、社会資本総合整備計画を策定し、福岡市域における緑の面積の総量を維持するとともに、既存ストックの再編を図ることで、市民が身近な緑や公園に親しみをもてるような、風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡の創造に向けて事業を推進していく。

また、舞鶴公園においては、日本で唯一の二重の国指定史跡である、国史跡福岡城跡、国史跡鴻臚館跡という、我が国固有の優れた歴史的資源を活用して、市民の憩いの場として、歴史、芸術文化、観光振興の拠点となる公園づくりに向けて、セントラルパーク構想を推進していく。



セントラルパーク 将来像イメージ



特別緑地保全地区

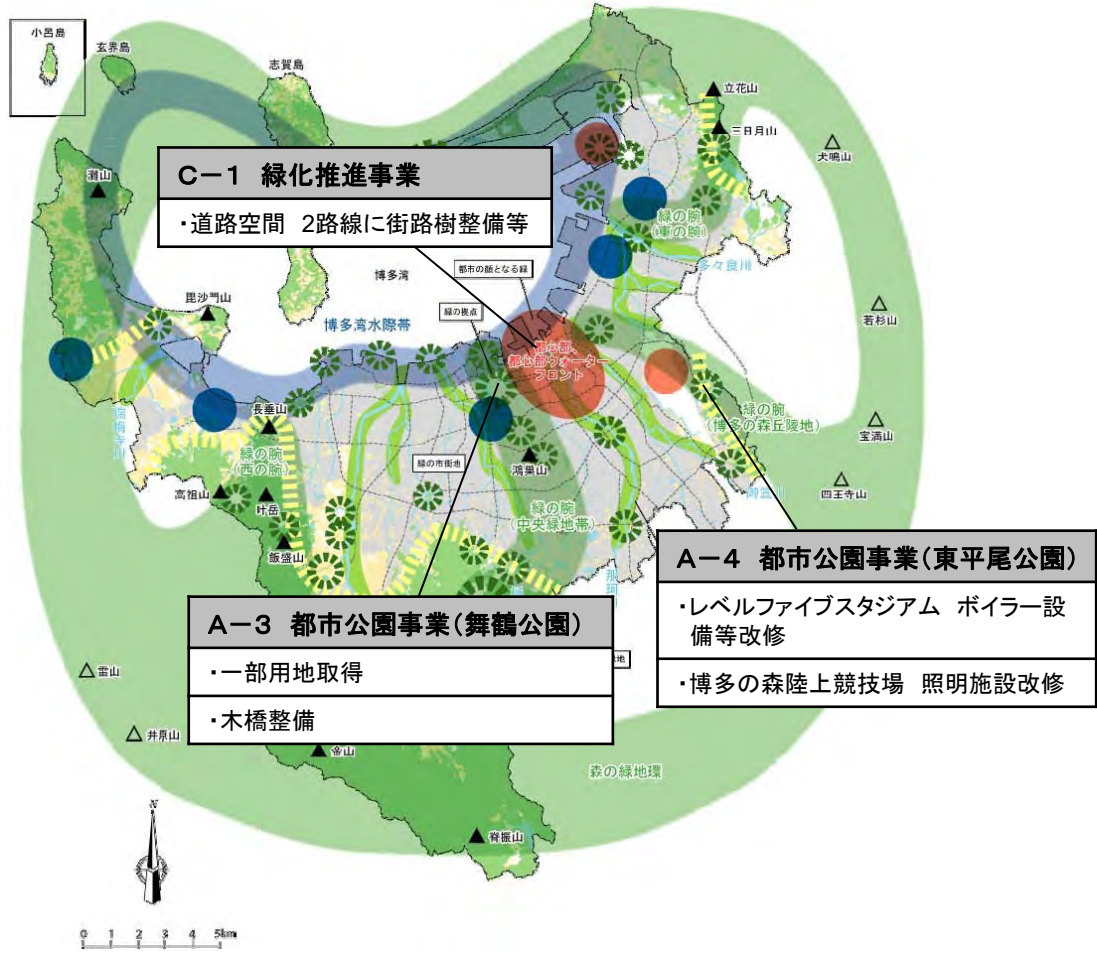
計画5

風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡

事業箇所

計画期間	平成27年度～平成31年度	交付期間	平成27年度～平成31年度	全体事業費	6,900百万円
------	---------------	------	---------------	-------	----------

- A-1 福岡市緑地保全等事業(市内全域)**
 - ・特別緑地保全地区 7地区用地取得
 - ・特別緑地保全地区 6地区土砂崩壊防止施設等整備
- A-2 福岡市ストック再編事業(市内全域)**
 - ・都市公園 1公園用地取得
 - ・都市公園 18公園施設整備(公園再整備, 便所改修等)
- C-2 公園機能拡充事業(市内全域)**
 - ・都市公園 39公園施設整備(遊具, フェンス, 照明灯の改修等)



成果指標の達成状況一覧

成果指標	当初現況値 (H27年度当初)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)
① 福岡市域における緑の面積	18,980ha	18,980ha	18,931ha
② 身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	31%	51%	30% (H30年度末実績)
③ 地域の公園に親しみを感じている市民の割合	64%	73%	67% (H30年度末実績)
④ 過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合	56%	58%	62% (H30年度末実績)
⑤ 鴻臚館等観光施設の年間利用者数	12.5万人	17.0万人	20.5万人

計画5

風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡

成果指標および達成状況①,②

【成果指標】

- ①福岡市域における緑の面積
- ②身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合

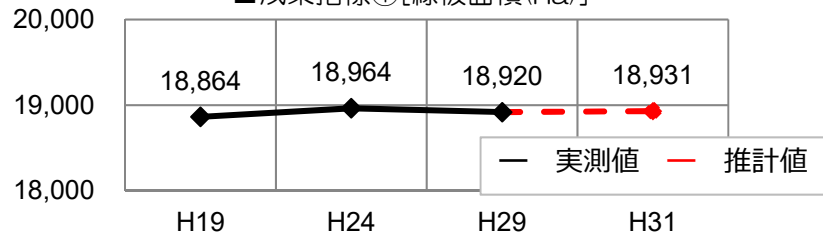
【算出根拠】

- ① (H29年度末緑被面積) + (H19年度末からH29年度末における1年ごとの平均増減緑被面積)
- ②福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査(H31.2月)

■成果指標の目標値および実績値

	当初	目標値	実績値
年度	H27	H31末	H31末 (予定)
成果指標①	18,980ha	18,980ha	18,931ha
成果指標②	31%	51%	30% (H30年度末実績)

■成果指標①[緑被面積(ha)]



整備効果事例

○福岡市緑地保全事業

○民有地の緑等が適切に保全されており、福岡市域における緑被面積については概ね維持している。

○ストック再編事業

○公園の再整備は進んでいるが、市民の身近な公園が充足していない地域もあり、指標は近年横ばいとなっている。



【鴻巣山特別緑地保全地区】法面改修工事



範囲内の一部を
用地取得

【平和北特別緑地保全地区】用地取得

計画5

風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡

成果指標および達成状況③

【成果指標】

③地域の公園に親しみを感じている市民の割合

【算出根拠】

③福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査(H31.2月)

■成果指標の目標値および実績値

	当初	目標値	実績値
年度	H27	H31末	H31末 (予定)
成果指標	64%	73%	67% (H30年度末実績)

整備効果事例

○福岡市ストック再編事業

○公園の再整備に加え、公園愛護会活動やコミュニティパーク事業等のソフト施策を促進し、H27年度当初より数値は上昇した。



【野芥5号公園】公園統廃合

計画5

風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡

成果指標および達成状況④,⑤

【成果指標】

- ④過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合
- ⑤鴻臚館等観光施設の年間利用者数
(鴻臚館, むかし探訪館, 三の丸スクエア)

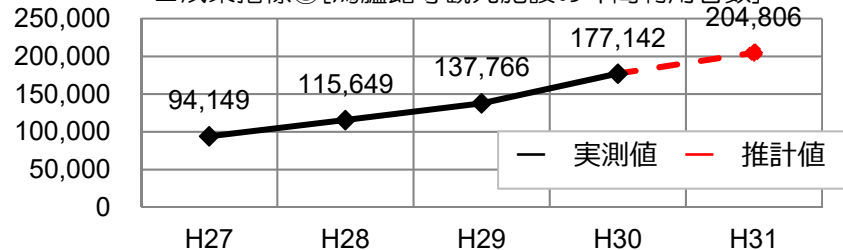
【算出根拠】

- ④福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査(H31.2月)
- ⑤(平成30年度の年間利用者数) + (平成27年度から平成30年度における1年ごとの平均増減利用者数)

■成果指標の目標値および実績値

	当初	目標値	実績値
年度	H27	H31末	H31末 (予定)
成果指標④	56%	58%	62% (H30年度末実績)
成果指標⑤	12.5万人	17.0万人	20.5万人

■成果指標⑤[鴻臚館等観光施設の年間利用者数]



整備効果事例

○都市公園事業(舞鶴公園)

○セントラルパーク構想の推進や、舞鶴公園でのイベント開催件数の増加により、舞鶴公園への来訪者が増えた。



【舞鶴公園】木橋改修工事



範囲内の一部を
用地取得

【舞鶴公園】用地取得

計画6

国家的事業関連公園の整備

地域の現状・課題

●国際大会等が開催可能な施設の不足

福岡市では、オリンピック等の大規模な国際大会が開催可能な施設が不足しており、多くの外国人が訪れるような大会が誘致できていない。

計画の目標

令和元年度に日本で開催予定の「ラグビーワールドカップ2019」や令和2年度に開催予定のオリンピック・パラリンピック等の開催に向けて、国際大会開催が可能な施設に改修を行うことで、大会後も多くの外国人が訪れる国際的な大会を誘致し、魅力ある総合公園として外国人観光客の呼び込みを図る。



レベルファイブスタジアム観客席(再整備前)



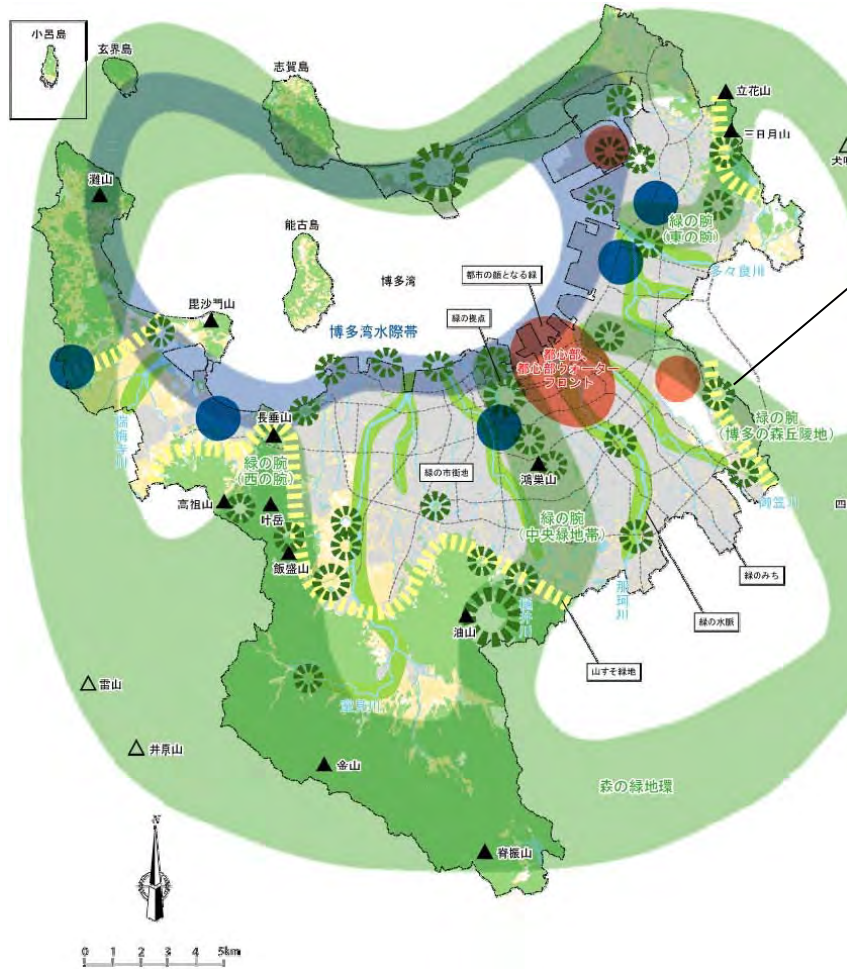
レベルファイブスタジアム電光掲示板(再整備前)

計画6

国家的事業関連公園の整備

事業箇所

計画期間	平成28年度～平成31年度	交付期間	平成28年度～平成31年度	全体事業費	1,784百万円
------	---------------	------	---------------	-------	----------



A-1 都市公園事業(東平尾公園)
・レベルファイブスタジアム 観客席改修
・レベルファイブスタジアム 電光掲示板改修
・レベルファイブスタジアム 照明施設改修等
・博多の森陸上競技場 観客席改修
・博多の森陸上競技場 便所改修等

計画6

国家的事業関連公園の整備

成果指標の達成状況一覧

成果指標	当初現況値 (H28年度当初)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)
① スポーツ観戦の機会への評価 (福岡市のスポーツ観戦機会の充実度)	79%	81%	77% (H30年度末実績)
② 国際スポーツ大会, 全国レベル の大会等の年間開催数	1回	3回	3回

計画6

国家的事業関連公園の整備

成果指標および達成状況①,②

【成果指標】

- ①スポーツ観戦の機会への評価
- ②国際スポーツ大会、全国レベルの大会等の年間開催数

【算出根拠】

- ①福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査(H31.2月)
- ②開催件数の実績値

■成果指標の目標値および実績値

	当初	目標値	実績値
年度	H27	H31末	H31末 (予定)
成果指標①	79%	81%	77% (H30年度末実績)
成果指標②	1回	3回	3回

整備効果事例

○都市公園事業(東平尾公園)

OR元年度以降はラグビーワールドカップ等の開催もあり、更なる上昇が期待できる
 ○国際スポーツ大会が開催可能な公園の整備を行い、ラグビーワールドカップ、日本陸上競技選手権大会、福岡国際女子テニスが開催された。



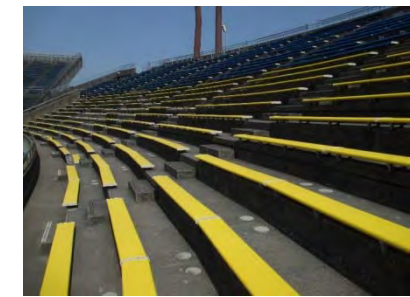
レベルファイブスタジアムビジョン改修



レベルファイブスタジアムエレベーター改修



レベルファイブスタジアム観客席改修



博多の森陸上競技場ベンチ改修

計画6

国家的事業関連公園の整備

参考資料

【ラグビーワールドカップの来場者数】

- ①9/26(木) イタリア 対 カナダ
16,984人
- ②10/2(水) フランス 対 アメリカ
17,660人
- ③10/12(水) アイルランド 対 サモア
17,967人



3日間とも概ね満員
(アビスパ福岡 リーグ戦時の約2倍)

(参考)

【アビスパ福岡リーグ戦の平均来場者数】

OH30年度平均 8,859人

H30年度来場者数(一部抜粋)

試合	観客数(人)
J2リーグ VS 栃木SC(2:1)	7,775
J2リーグ VS レノファ山口FC(2:0)	6,837
J2リーグ VS ジェフユナイテッド千葉(3:1)	7,984
J2リーグ VS モンテディオ山形(2:1)	9,620
J2リーグ VS 愛媛FC(2:0)	6,684
J2リーグ VS 徳島ヴォルティス(1:0)	8,598
J2リーグ VS アルビレックス新潟(0:2)	9,467



ラグビーワールドカップ開催時(レベルファイブスタジアム)



アビスパ福岡リーグ戦時(レベルファイブスタジアム) ※JリーグHPより

計画7

観光振興拠点公園の整備

地域の現状・課題

●観光の拠点となる公園の不足

福岡市には、舞鶴公園や南公園(動植物園)といった観光の拠点としての機能を持つ公園の整備を行っているが、施設の老朽化や活用の方法など、現在のニーズに合ったものとなっていないところもあり、魅力が低下している。

計画の目標

福岡市の財産である歴史的、自然的、文化的資源を活かした観光振興の拠点となる公園を整備し、市民や外国人観光客を含む多彩な来街者が集う魅力ある街を目指す。



舞鶴公園・大濠公園



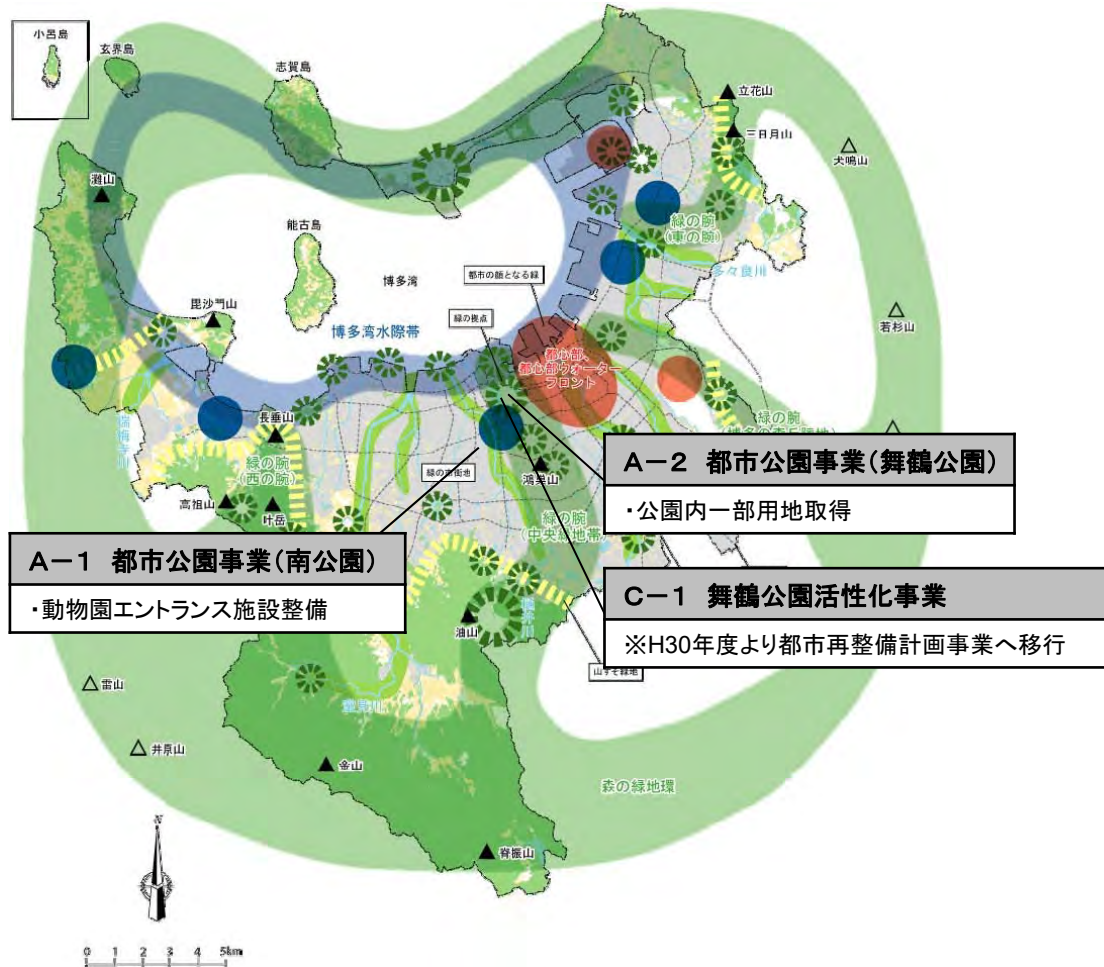
動植物園エントランス(再整備前)

計画7

観光振興拠点公園の整備

事業箇所

計画期間	平成27年度～平成31年度	交付期間	平成27年度～平成31年度	全体事業費	4,570百万円
------	---------------	------	---------------	-------	----------



成果指標の達成状況一覧

成果指標		当初現況値 (H27年度当初)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)
①	動植物園の年間利用者数	92.8万人	95.6万人	83.2万人

成果指標及び達成状況①

【成果指標】

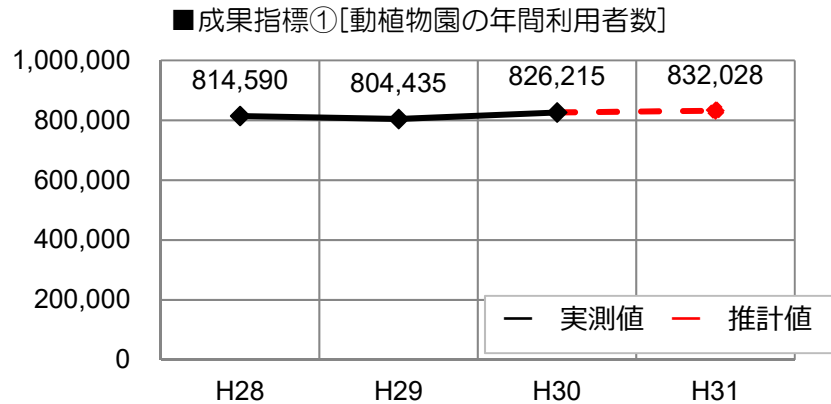
①動植物園の年間利用者数

【算出根拠】

①（平成30年度の年間利用者数）+（平成28年度から平成30年度における1年ごとの平均増減利用者数）

■成果指標の目標値および実績値

	当初	目標値	実績値
年度	H27	H31末	H31末 (予定)
成果指標①	92.8万人	95.6万人	83.2万人



整備効果事例

○都市公園事業（南公園）

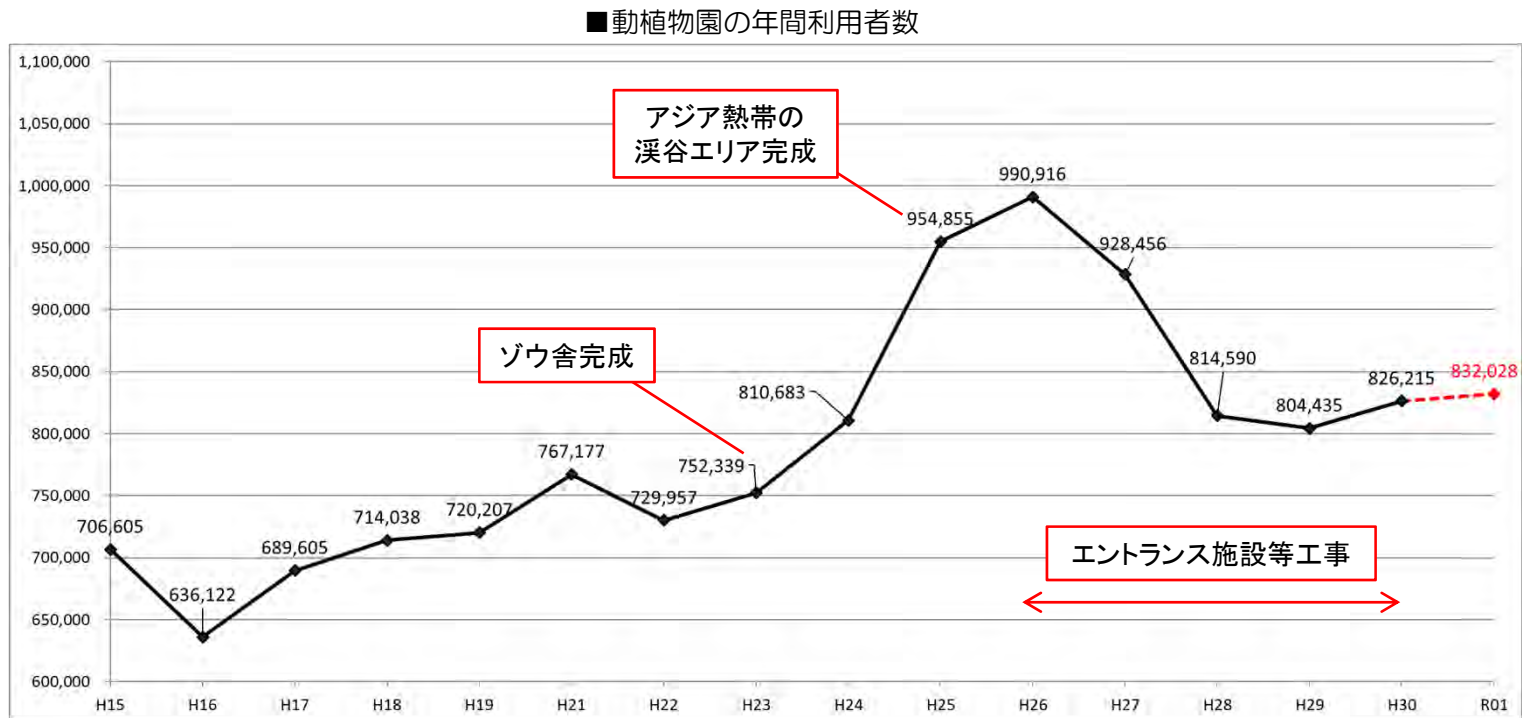
○H25年度にアジア熱帯の渓谷エリアが供用開始され、H27年度は利用者が92.8万人に達し、この値を基準として目標値を設定していたが、その後エントランス複合施設工事の影響などで減少傾向となり、H29年度の利用者数は80.4万人であった。H30年10月には、エントランス複合施設の供用が開始し、H30年度下半期は上半期より、利用者数が13%増加したこともあり、年間利用者数が82.6万人と増加した。今後も、新たな施設の整備とともに、利用者が増加していくことが予測される。



【南公園】動物園エントランス複合施設



参考資料



○(H15年度～H23年度)平均年間利用者数 約72万人

○H24年度には80万人を突破

○H25年度は、アジア熱帯の溪谷エリアが完成し利用者数が急増

○H26年度以降、施設の改修工事及び、工事に伴う利用者駐車場の減少等もあり、年間利用者数は減少傾向にあるものの、H30年度まで80万人以上を維持しており今後も上昇が見込まれる

計画8

安全・安心を支える緑づくり（防災・安全）

地域の現状・課題

●避難場所としての公園の不足

福岡市では、地域防災計画において地区避難場所や広域避難場所として、多くの公園が指定されているが、その避難場所までの距離が遠い地域等が存在しており、近くの距離にある避難場所が不足している。

計画の目標

緑による都市の防災、減災対策を推進するため、災害時等に避難場所となる公園・緑地の整備を進める。



今津運動公園(整備後)



今津運動公園での防災訓練

計画8

安全・安心を支える緑づくり（防災・安全）

事業箇所

計画期間	平成27年度～平成31年度	交付期間	平成27年度～平成31年度	全体事業費	2,925百万円
------	---------------	------	---------------	-------	----------

C-1 一時避難地整備事業(市内全域)

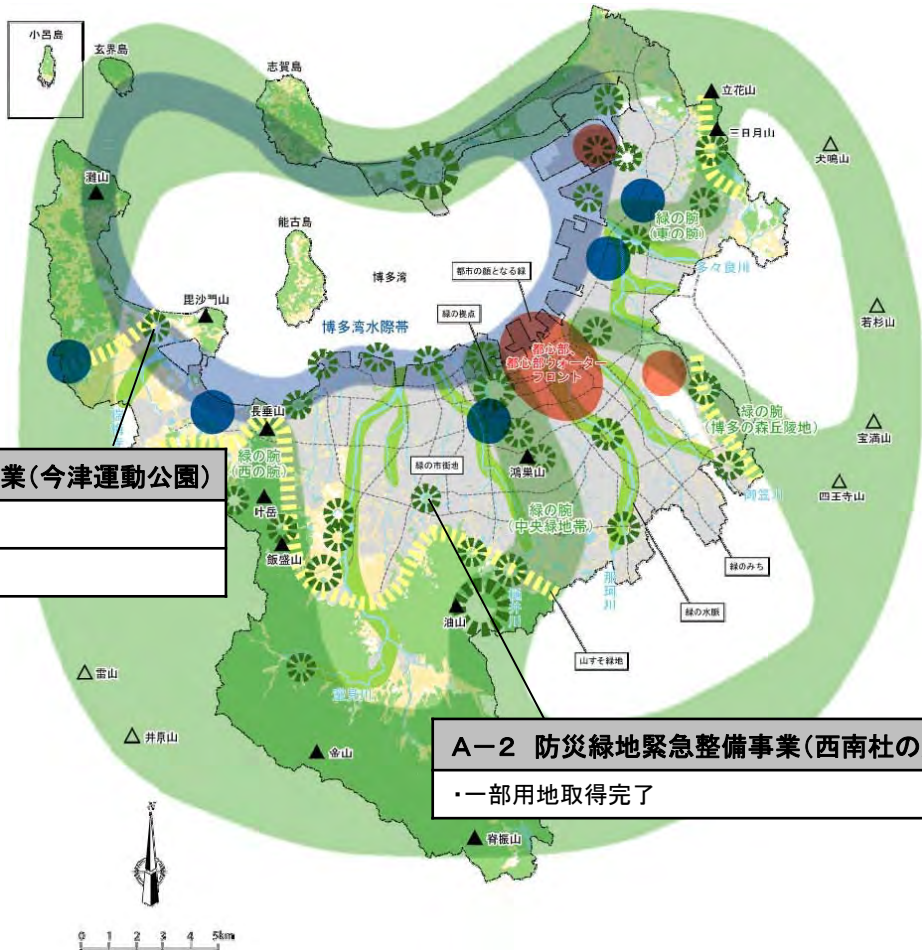
- ・都市公園 大塚古墳公園整備
- ・都市公園 山ノ鼻古墳公園整備

A-1 都市公園事業(今津運動公園)

- ・グラウンド整備
- ・体育館整備等

A-2 防災緑地緊急整備事業(西南杜の湖畔公園)

- ・一部用地取得完了



成果指標の達成状況一覧

成果指標	当初現況値 (H27年度当初)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)
① 地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合	39%	46%	40% (H30年度末実績)
② 地域に緊急時の避難場所が整備されていると感じている市民の割合	45%	66%	46%

計画8

安全・安心を支える緑づくり（防災・安全）

成果指標及び達成状況①,②

【成果指標】

- ①地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合
- ②地域に緊急時の避難場所が整備されていると感じている市民の割合

【算出根拠】

- ①福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査(H31.2月)
- ②下記参照

■成果指標の目標値および実績値

	当初	目標値	実績値
年度	H27	H31末	H31末 (予定)
成果指標①	39%	46%	40% (H30年度末実績)
成果指標②	45%	66%	45%

■成果指標② 算出根拠

- ・②の指標に類似した、①の指標
(H27~H30年度)の平均増減率
=1.002%・・・A

算術式

- ・(②の指標値)×A

年度	割合(%)
平成27年度	44.5
平成28年度	44.6
平成29年度	44.7
平成30年度	44.7
平成31年度推計	44.8

×A
×A
×A
×A

整備効果事例

○都市公園事業（今津運動公園）

○広域避難場所となる公園の整備公園の整備を1箇所、用地取得を1箇所行い、地区避難場所となる公園を2箇所整備した。



今津運動公園整備

計画9

福岡市公園施設の長寿命化の推進（防災・安全）

地域の現状・課題

●公園施設の老朽化による危険性の高まり

福岡市では、公園内の遊具等の老朽化が進み、利用者にとっては危険であると共に、地震や大雨等の災害発生時、また通常の維持管理面においても早急な対応が求められている。

計画の目標

誰もが安全・安心に公園を利用できる環境整備を行うため、公園施設長寿命化計画を踏まえた既存施設の計画的な維持管理・更新を図る。



老朽化した遊具



老朽化した休憩施設

計画9

福岡市公園施設の長寿命化の推進（防災・安全）

事業箇所

計画期間	平成27年度～平成31年度	交付期間	平成27年度～平成31年度	全体事業費	2,351百万円
------	---------------	------	---------------	-------	----------

A-1 福岡市公園施設長寿命化計画策定調査(市内全域)

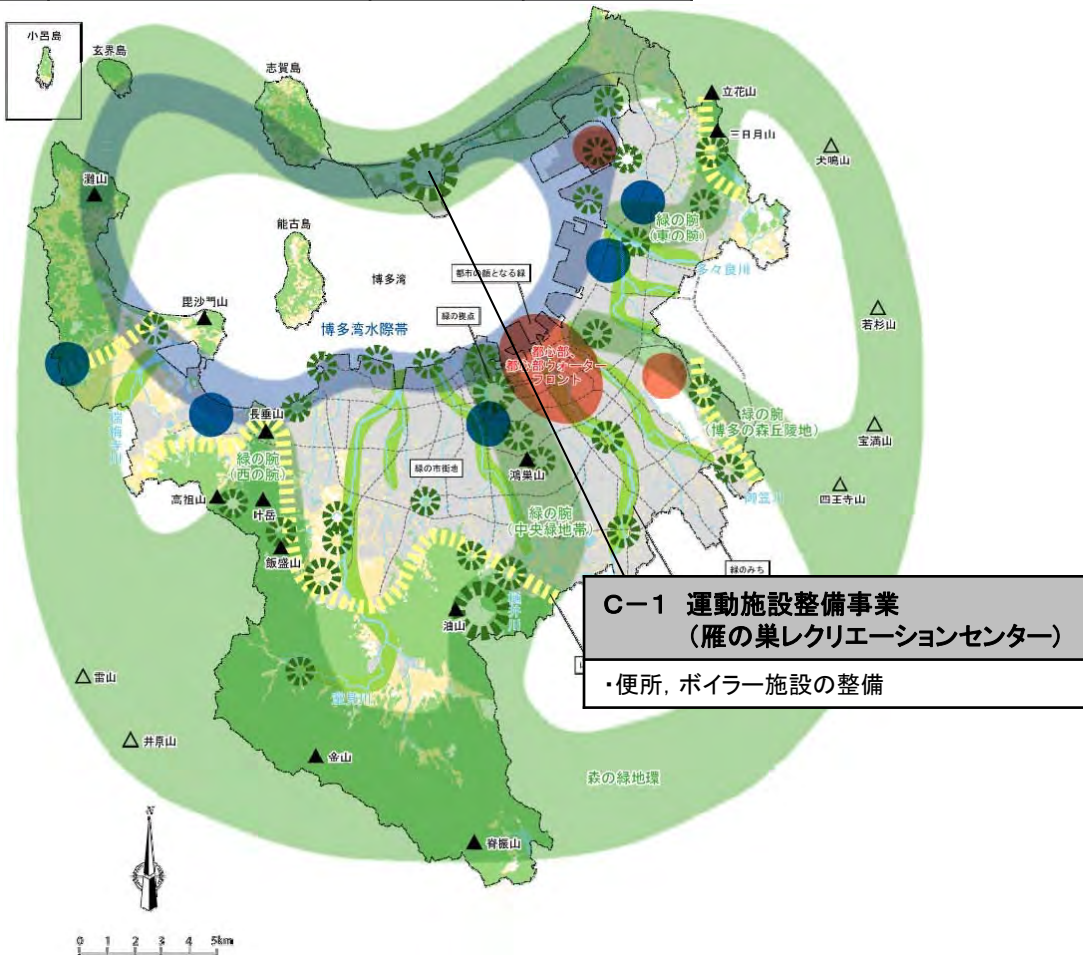
- ・長寿命化計画策定

A-2 福岡市公園施設長寿命化対策支援事業(市内全域)

- ・都市公園 159公園の施設整備
- 2ha以上の都市公園における施設整備(フェンス, 照明灯, 橋等)
- 全ての都市公園における遊具整備

C-2 公園施設改修事業(市内全域)

- ・都市公園 132公園の施設整備
- 都市公園における施設整備(便所, 照明灯などの遊具以外の施設)



C-1 運動施設整備事業(雁の巣レクリエーションセンター)

- ・便所, ボイラー施設の整備



成果指標の達成状況一覧

	成果指標	当初現況値 (H27年度当初)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)
①	地域の公園で子供が安心して遊べると感じている市民の割合	63%	75%	67% (H30年度末実績)

計画9

福岡市公園施設の長寿命化の推進（防災・安全）

成果指標及び達成状況①

【成果指標】

①地域の公園で子供が安心して遊べると感じている市民の割合

【算出根拠】

①福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査(H31.2月)

■成果指標の目標値および実績値

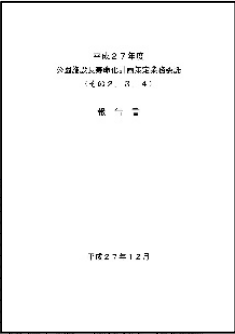
	当初	目標値	実績値
年度	H27	H31末	H31末 (予定)
成果指標①	63%	75%	67% (H30年度末実績)

整備効果事例

○福岡市公園施設長寿命化計画策定調査(市内全域)

○福岡市公園施設長寿命化対策支援事業(市内全域)

○公園施設長寿命化計画を策定し、4年間で159箇所(園)の公園について、遊戯施設の改修を行った。



年度	計画	実施	完了	未完了	計画	実施	完了	未完了
H27	159	159	159	0	159	159	159	0
H28	159	159	159	0	159	159	159	0
H29	159	159	159	0	159	159	159	0
H30	159	159	159	0	159	159	159	0
H31	159	159	159	0	159	159	159	0

福岡市公園施設長寿命化計画



【梅光園公園】公園施設改修

計画9

福岡市公園施設の長寿命化の推進（防災・安全）

参考資料

公園施設一覧表（都市公園法施行令第31条）

分類	園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設	管理施設	その他の施設
公園施設の種類	園路 広場	植栽 芝生 花壇 いけがき 日陰だな 噴水 水流 池 滝 つき山 映像 灯籠 石組 飛石	休憩所 ベンチ 野外卓 ピクニック場 キャンプ場 その他これらに類するもの	ぶらんこ 滑り台 シーソー ジャングルジム ラダー 砂場 徒渉池 舟遊場 魚つり場 メリーゴーランド 遊戯用電車 野外ダンス場 その他これらに類するもの	野球場 陸上競技場 サッカー場 ラグビー場 テニスコート バスケットボール場 バレーボール場 ゴルフ場 ゲートボール場 水泳プール 温水利用型健康運動施設 リハビリテーション用運動施設 ボート場 スケート場 スキー場 相撲場 弓場 乗馬場 鉄棒 つり輪 その他これらに類するもの これらに附属する工作物（観覧席、シャワー等）	植物園 温室 分区園 動物園 動物舎 水族館 自然生態園 野鳥観察所 動植物の保護繁殖施設 野外劇場 野外音楽堂 図書館 陳列館 天体・気象観測施設 体験学習施設 記念碑 その他これらに類するもの 遺跡等（古墳、城跡等）	売店 飲食店 宿泊施設 駐車場 園内移動用施設 便所 荷物預り所 時計台 水飲場 手洗場 その他これらに類するもの	門 さく 管理事務所 詰所 倉庫 車庫 材料置場 苗畑 掲示板 標識 照明施設 ごみ処理場（廃棄物再生利用施設を含む） くず箱 水道 井戸 暗渠 水門 雨水貯留施設 水質浄化施設 護岸 擁壁 発電施設（環境への負荷の低減に資するもの） その他これらに類するもの	展望台 集会所 備蓄倉庫 [耐震性貯水槽] [放送施設] [情報通信施設] [ヘリポート] [係留施設] [発電施設] [延焼防止のための散水施設] ※[]内は省令で定めている施設
		その他これらに類するもの							

休養施設、遊戯施設、運動施設、教養施設については、上記に掲げるもののほか、都市公園ごとに、地方公共団体の設置に係る都市公園にあっては当該地方公共団体が条例で定めることができる。
ただし、都市公園事業費補助の対象にはならない。

補助対象施設

成果指標の達成状況まとめ

計 画	成果指標	①当初 (H27・H28)	②目標値 (H31末)	③実績値 (H31末予定)
風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡	福岡市域における緑の面積	18,980 ha	18,980 ha	18,931ha
	身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	31%	51%	30% (H30年度末実績)
	地域の公園に親しみを感じている市民の割合	64%	73%	67% (H30年度末実績)
	過去3年間に舞鶴公園に行ったことがある市民の割合	56%	58%	62% (H30年度末実績)
	鴻臚館等観光施設の年間利用者数	12.5万人	17.0万人	20.5万人
国家的事業関連公園の整備	スポーツ観戦の機会への評価	79%	81%	77% (H30年度末実績)
	国際スポーツ大会, 全国レベルの大会等の年間開催数	1回	3回	3回
観光振興拠点公園の整備	動植物園の年間利用者数	92.8万人	95.6万人	83.2万人
安全・安心を支える緑づくり (防災・安全)	地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合	39%	46%	40% (H30年度末実績)
	地域に緊急時の避難場所が整備されていると感じている市民の割合	45%	66%	46%
福岡市公園施設の長寿命化の推進 (防災・安全)	地域の公園で子供が安心して遊べると感じている市民の割合	63%	75%	67% (H30年度末実績)

今後の方向性

- 少子高齢化などの社会状況の変化や多様な市民ニーズに対応した、身近な公園の新設・再整備に取り組んでいく。
- みどり資産を効果的・効率的に活用するため、「市民との共働」「資産の有効活用」「収支の改善」の3つの視点のもと、みどり資産の価値向上を図り、都市の賑わいや地域コミュニティ活動の促進等に取り組んでいく。